

20西地整34第836号

平成20年10月14日

国土交通省道路局長 様

福島県耶麻郡西会津町長 山口 博



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

このことにつきまして、別添のとおり提出いたしますので、よろしくお取り計らい願います。

地方の道路整備はまだ道半ばです、一般財源化により地方道路整備が後退されては困ります。

- ① 国会の論争を聞いていると、「無駄な道路」といった言葉が出てきます。わが町を見渡したとき「無駄な道路」などは1本も存在していません。それぞれその目的に応じた役割を果たし地域振興に貢献しています。
- ② 本町では、近年になり山間部の集落を中心に過疎化が急激に進行しています。これらの一因を作っているのが道路整備の遅れです。若者が定住するまちづくりを進めるためには、しっかりとした道路の整備が必要です。
- ③ 高齢化が進行し、車を操るドライバーも高齢化しています。高齢者でも安全・安心に走れる道整備がまだまだ必要です。

道路特定財源の一般財源化に伴ない「地方道路臨時交付金」がどうなるのか心配です。

本町の場合、本年から地方道路臨時交付金の補助(交付金)率が65%となりました。これまで積極的に本事業に取り組んできた本町にとっては大変にありがたい制度改正でありました。

道路特定財源の一般財源化が決まり、地方道路臨時交付金が今後どんな形になるのかが大変に心配です。人口や道路延長等に応じた定率交付金となれば、道路整備に満足な財源が回ってくることは考えられません。まだまだ整備しなければならない道路が多く存在する自治体にとっては、地方道路臨時交付金を現行制度のまま存続していただくことを強く要望します。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

様式②

福島県西会津町

○現状

- ・ 過疎化進行による地域活力の衰退
- ・ 少子高齢化の急激な進行

○課題

- ・ 町内を短時間で移動可能な幹線道路の整備が不可欠
- ・ 高齢者でも安全・安心して運転できる道路整備が不可欠
- ・ 玄関先まで福祉サービス車両が進入できるよう、集落内生活道路の整備が不可欠

西会津町のまちづくりの目標

① こころ豊かな人を育むまちづくり

（地域に受け継がれる伝統文化を大切にし、未来を担う心豊かな人づくりに努めています。）

② 豊で魅力あるまちづくり

（資源を生かした産業の振興により、地域経済の活性化と魅力あるまちづくりに努めています。）

③ 人と自然にやさしいまちづくり

（美しい自然環境を守り、町民が生きいきと健康に、安心して暮らせるまちづくりに努めています。）

本町は上記3事項を目標にまちづくりを進めています。

これら目的達成するためには、安全・安心に通行できる「道路」が必要不可欠であります。

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上 ・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	町縦貫道路整備構想 町中心部から奥川地区入口まで、３０分の移動時間がかかります。当地区は利便性が悪く特に過疎化が著しいことから、県に協力いただきながら、１５分で移動できる道路整備（道路整備臨時交付金を活用）に挑んでいます。 集落内生活道路整備 集落内の生活道路整備については、これまでも積極的に整備を進めてきましたが、高齢化の進行に伴ないより緻密な道路網整備の要望が地域から出され、計画的な整備に着手しています。	・定住人口減少の歯止めになることを期待しています。 ・溪流釣り、飯豊登山など観光人口の雑に繋がることを期待しています。 ・玄関先まで緊急自動車や福祉サービス提供車の進入が可能となるほか、除雪作業も可能となり、地域住民の利便性向上に繋がります。	